

発想の転換

所用時間

60分

対象

小学校高学年以上

ねらい

- 物事は、いろいろな見方ができることに気づく。
- 欠点と思われがちな性格を、見方を変え長所としてとらえるなど、発想を転換したものの見方ができる。

準備

ワークシート「ここイヤ！シート」（人数分）
ワークシート「発想の転換！」（グループに1枚、A3に拡大して使用する）
フェルトペン（グループに1本）
コップ（水を半分入れる）
筆記用具（個人）

進め方

導入

15分

- 1 アイスクレイクを行い、グループを作ります。（5分）
1つのグループが4～6人ぐらいになるようにします。
- 2 水が半分入ったコップを見せて、意見を聞きます。（参加対象によって、ジュースやお酒等に例えても良いでしょう）（10分）
発問：「ここに水の入っているコップがあります。以前、このコップを見せたところ『半分しか入っていない』『半分も入っている』という2つの意見が出ました。皆さんはどちらだと思いますか？挙手で教えてください。」
○『半分しか入っていない』と考えた方、『半分も入っている』と考えた人からそれぞれ2～3人ずつ理由を聞きます。
発問：「この1つのコップを見て、皆さんからいろいろな意見が出ました。このように、同じものでも感じ方や考え方で違って見えてきます。次は、身近な事について考えてみましょう。」

展開

35分

- 3 ワークシート「ここイヤ！シート」を個人に1枚ずつ配り、例を参考に「嫌だなと思う性格」をカードに記入します。（5分）
発問：「ここイヤ！シート」を見てください。例にならって、シートにある①の「嫌だな、と思う性格」を記入してください。」

展開

4 ワークシート「発想の転換！」とフェルトペンを各グループに配ります。グループ内でお互い書いた性格を出しあい、ワークシートへ記入してもらいます。そして、発想の転換で違った言い方を話し合います。(15分)
発問：「シートに書いた嫌だな、と思う性格をグループで出しあい、ワークシート「発想の転換！」の嫌だなと思う性格の欄へ記入してください。次に、その性格の見方を変えて良い性格としてとらえ、書いてください。後でグループごと発表してもらいます。発表者を決めておいてください。」

5 グループごとに発表します。(15分)

発問：「それではこちらのグループから発表してください。」

○ワークシートを掲示し、みんなで見ながら発表するとそれぞれのグループの考えが分かりやすくなります。

発問：「各グループに発表してもらいました。どのグループも、とても素晴らしい発想の転換ができたと思います。嫌だなと思う性格も、見方を変えれば個性となります。性格に限らず、どんな事もよい面から見ることができるとよいですね。みなさんはどうお考えでしょうか？」

振り返り
10分

6 自分のことについて考えてみます。

発問：「自分の性格についても考えてみましょう。「ここイヤ！シート」の②に自分の嫌だなと思う性格を記入して、発想の転換をしてみましょう。」

○振り返ったことを発表し合います。

留意点

○性格について、個人を特定したり、特定できるような言動には気をつけましょう。

○出た意見は否定しないようにした上で、よりよい考えが出るように進めていきます。

引用・参考文献：2008年3月発行 財団法人 滋賀県人権センター

「劇的人権学習 ビフォー→アフター」ワークショップ実践事例集

ワークシート 「ココイヤ！シート」 氏名

①嫌だな、と思う性格を例にならって記入してみよう。

例：落ち着きがない

②自分の性格についても考えてみよう。

自分の嫌だな、と思う性格		発想の転換！ (視点を変えてみよう)
例：落ち着きがない	→	活発、活動的
	→	
	→	
	→	
	→	

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

